

令和7年度地域医療介護総合確保基金事業提案に向けた県の方向性

- 「地域医療構想」とは、各構想区域における 2025 年の医療需要と病床数の必要量について、医療機能ごとに推計し、策定したもの
- 2025年（令和7年）は現行の地域医療構想の総括年であり、基金事業を活用しながら病床の機能の分化及び連携、在宅医療等の体制構築をより一層推進していく

柱Ⅰ 病床の機能分化・連携のために必要な事業

急性期病床から回復期病床への転換等、地域医療構想の達成に向けた病床の機能の分化及び連携等について実効性のあるものとするため、医療機関が実施する施設・設備の整備に対する助成を行う。

柱Ⅰ-2 病床数又は機能の変更のために必要な事業

地域医療構想の実現を図る観点から、地域医療構想調整会議等の意見を踏まえ、自主的に行われる病床減少を伴う病床機能再編や、病床減少を伴う医療機関の統合等の取組に対する助成を行う。

柱Ⅱ 在宅医療・介護サービスの充実のために必要な事業

地域包括ケアシステムの構築を図るため、在宅医療の実施に係る拠点の整備や連携体制を確保するための支援等、在宅における医療を提供する体制の整備に対する助成を行う。

柱Ⅲ 医療従事者の確保・養成のための事業

医師等の偏在の解消、医療機関の勤務環境の改善、チーム医療の推進等の事業に助成することにより、医師、看護師等の地域に必要な質の高い医療従事者の確保・養成を推進する。

柱Ⅳ 勤務医の働き方改革の推進のための事業

医師の労働時間短縮を図るため、労働時間短縮のための計画を策定し、勤務環境改善の体制整備に取り組む医療機関に対する助成を行う。

柱Ⅰ-1：病床の機能分化・連携のために必要な事業
柱Ⅰ-2：病床数又は機能の変更のために必要な事業

R7年度事業計画策定に向けた県方針

<病床機能の転換・連携推進>

- 地域医療構想の実現に向け、一層の基金の活用を図る
- 地域で不足する機能への転換や病床の適正化等の取組を支援し、県民に必要な医療を、質が高く効率的な形で提供できるよう活用していく
- 地域医療構想の方向性に合致した二次医療圏全体を見据えての人材確保については柱Ⅰを積極的活用する

<ICTを活用した効率化>

- 医療ICTは「あじさいネット」による展開を基本とする。今後、あじさいネットに関する課題の解決を図るとともに、地域包括ケアシステムに資するICTの導入にあたっては、下記の事項を確認する
 - ・「あじさいネット」との機能・情報の重複、運用経費（更新を含む）の負担額や負担方法、県全域や医療圏全域でない住民を対象とする場合は関係市町の協力体制等
 - ・国が予定としている全国医療情報プラットフォーム等との重複

○ ICTを活用した医療機関等の連携推進

	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6	
情報提供病院新規加入支援事業	→										→	<ul style="list-style-type: none"> ・「あじさいネット」を基盤を活用し、多職種連携等のシステム開発を支援。 ・情報提供病院の新規加入支援については、H29年度をもって終了。プロジェクトマネージャーによる参加勧奨、テレビ会議等導入支援についても、H30年度をもって終了。 ・健診結果共有を実現するための課題等を整理し、事業化に向けた準備を実施 ・介護施設の参加、患者同意の取り方等参加施設の増加を図るための運用方法の改善、PHRへの活用等が課題 ・仕様の異なる2システムについて、即座にアクセスできるようシステム改修を行う。 ・診療所を主に想定して、連携強化や加入促進を目指す。
医療提供の機能分化に向けたICT医療連携導入支援事業		→										
地域医療構想支援事業		→										
救急応需システム対応地域拡大			→									
健診結果共有に向けた調査事業					→							
病院・診療所連携強化対策事業							→					
地域医療充実のための医療ICT活用促進事業								→				
離島救急医療支援システム事業				→						→		
長崎県救急医療情報システム整備事業										→		<p>新たな長崎県救急医療情報システムを整備し、救急患者の受入れに関する応需情報の共有に加え、受入れ状況の見える化を行うなど、救急医療における機能分化・連携を促進する。</p>

柱Ⅱ：在宅医療・介護サービスの充実のために必要な事業

R7年度事業計画策定に向けた県方針

<退院支援>

- 病院から在宅に移行する際、医療機関と地域包括支援センター、ケアマネージャー等の地域関係者との切れ目のない情報共有を図るため、先行地域の取組事例の情報提供や意見交換の場をとおして、在宅医療圏域単位での退院支援の仕組づくりを支援する

<日常の療養生活の支援>

- 訪問看護師の知識や経験に応じた研修や専門技術研修等の実施、訪問看護事業所の地域偏在の解消等、訪問看護事業所や訪問看護師を総合的に支援する訪問看護サポートセンターの充実を図る

<急変時の対応>

- 家族の負担を軽減するため24時間対応可能な訪問看護事業所の確保を図るなど、安定的なケアの提供が行える体制を構築する
- 在宅療養支援診療所・後方支援病院の拡大を図るとともに、地域におけるかかりつけ医、訪問看護事業所、施設等と後方支援病院との連携体制を推進する

<看取り>

- 人生の最終段階における医療・ケアに関する医療関係者等に対する研修や住民啓発を実施する

<在宅医療・介護連携・かかりつけ医の普及>

- ACP推進の核となる人材を養成し、養成した人材を市町が行う住民への普及啓発や医療・介護従事者に対する研修会等に講師として派遣するなどにより、患者本人の意思決定を支援する環境の整備を図る
- 歯科医療従事者と介護従事者などの地域の他職種との連携強化を図り、在宅歯科医療の質の向上を図る
- 地域の医療関係者が行う、かかりつけ医を持つことや、上手な医療のかかり方に関する広報活動を支援する

○在宅医療提供体制の整備

在宅医療拠点及び住民相談支援センター整備事業												・大村市、島原市の2市において、在宅医療に携わる連携拠点及び情報提供の窓口が整備された。医師会や地域支援病院との連携により、拠点設置の拡大が必要。
在宅歯科医療推進に係る拠点連携推進室整備事業												・長崎市、佐世保市、島原市に連携拠点推進室が設置され、病院や施設に歯科衛生士を派遣し、口腔ケアの向上、医科歯科の連携体制が構築された。
訪問看護支援事業												・訪問看護師及び管理者への相談事業や研修による訪問看護の充実強化が必要。
「あじさいネット」を利用した在宅医療強化事業												・在宅医療でのモバイル端末の利用料を支援した。利用者の増加を図る必要がある。
在宅医療導入研修事業												・医療機関、関係多職種及び住民の在宅医療の理解が深まり、在宅医療に携わる人材の育成と住民意識の醸成が図られた。
在宅歯科診療ネットワーク構築事業												・地域包括ケアシステムにおける、歯科と関連職種との連携構築、市町や関連職種が連携し病院、施設、自宅での歯科診療の充実が図られた。
在宅歯科医療推進事業												・在宅医療に関わる医療・介護の関係者及び県民に対し、口腔管理の重要性等の啓発を行い、多職種連携による口腔管理を推進、歯科医療・介護の体制づくりに寄与した。
在宅歯科医療地域連携支援事業												・専門職と協働して多職種連携につながる仕掛けづくりを行うとともに、在宅でのケアの質向上及び多職種との連携に向けた研修を実施した。

○在宅医療提供体制の整備

	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	3 1	2	3	4	5	6		
在宅医療導入研修・啓発事業			→										・医療・ケアについての関係者や一般市民の理解促進、在宅医療に携わる人材の育成や普及啓発に繋がった。
在宅医療提供体制推進・啓発事業							→						・地域の在宅医療を担う多職種や医療機関等に対して、地域の実情に応じた研修を実施し、住み慣れた地域において在宅医療を受けられる体制の構築に寄与した。
在宅医療体制整備事業									→				・西海市において、在宅医療機関提供体制の整備、強化を図ると共に、必要な支援方策について調査、検討を行う。
人生の最終段階における医療・ケア体制推進事業										→			・本人の意向を最大限尊重した切れ目のない在宅医療と介護を一体的に提供する体制を構築する。

○多職種の連携体制構築

医療的ケアが必要な在宅小児等への支援事業		→											
在宅医療・多職種連携に関わる薬剤師の支援事業	→											・多職種の連携強化、人材育成等について支援した。	
在宅等医療人材スキルアップ支援事業	→											・1件あたりの補助額は少ないが、研修会の実施や現地の資源把握等、効果的な事業を実施した。	
歯科医療人材育成事業		→											・復職支援を目的とした交流サイトの開設及び研修会の開催により、歯科衛生士の交流サイトの登録と再就職につながった。
がん専門医療従事者養成事業		→											

柱Ⅲ：医療従事者の確保・養成のための事業

R7年度事業計画策定に向けた県方針

<医師確保・偏在解消>

- 医師確保計画の目標医師数を達成するための施策として、大学地域枠等の養成医制度を柱としつつ、地域の自治体や関係者と共同して医師確保の事業を展開していく
- 内科医等を対象した小児救急に関する研修会の開催など、地域医師会等による地域の小児救急医療体制の強化を目的とした取組について支援を行う

<看護職員確保>

- 2025年の看護職員需給推計において、661名の不足が見込まれることから、県内就業促進、離職防止、資質向上の柱で看護職員確保事業を展開する
- 新卒看護職員の県内就業・定着を促進するための施策として、看護師等学校養成所と医療機関等と連携し、若者が県内で働くことの魅力を高めるために、教育環境や勤務環境の整備、UIターン施策を進めていく

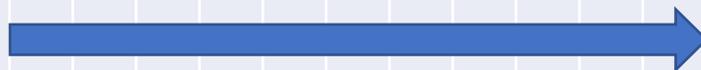
これまでの実施

26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6
----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---

事業の評価

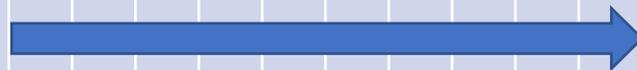
○医師の確保

ながさき地域医療人材支援センター運営事業



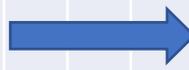
・地域医療を担う医師を確保し、地域偏在を解消するための事業であり、今後も継続していく必要がある。

大学地域枠医学修学資金貸与事業



・地域枠医学生へ修学資金の貸与を行うことにより、離島・へき地等に勤務する医師の養成に寄与しており、今後も継続していく必要がある。

地域の勤務医師確保事業



・一般枠医学生へ修学資金の貸与を行うことにより、離島・へき地等に勤務する医師の養成に寄与している。

○医師の確保

専門医師確保対策資金貸与事業												・小児科、産科、救急科、精神科、総合診療科及び脳神経外科の研修医等に研修資金の貸与を行い、専門医を養成することにより、不足する診療科の医師確保に寄与している。
リハビリテーション科専門医育成事業												・同圏域における医師及び看護師の確保及び偏在是正に向け検討会や調査等を実施した。
佐世保県北医療圏医療人材確保支援事業												・将来、離島等での医療に携わる医学生に対して、離島において研修を実施することにより地域医療への意識向上に寄与している。
医学修学生等実地研修事業												・医学生が離島・へき地などでの実習により地域医療への理解を深め、総合診療専門医の増加を目指す。
離島・へき地医療学講座事業												・病院見学者の誘致、臨床研修病院合同説明会の開催など臨床研修医の確保に向けた様々な事業を展開しており、若手医師の確保に寄与している。
新・鳴滝塾構想推進事業												・DMATの拡充や技能維持に係る研修等の開催やインストラクターの資格取得に対する支援により災害時の体制強化を図る。
広域災害・救急医療情報システム費												・離島の住民が地域の基幹病院において専門医療の受診ができるよう、長崎大学病院が設置する遠隔医療センターに対する運営支援を行う。
遠隔専門医療支援事業												

○その他医療従事者の確保

	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6		
専門医療機関連携薬局推進事業												→	・「地域薬学ケア専門薬剤師」等の育成と、がん診療拠点病院が研修機関としての機能を拡充するため、「地域薬学ケア専門薬剤師」、「がん指導薬剤師」等を育成を図る。
薬剤師奨学金返還補助事業												→	・県内に就労する薬剤師を確保する目的として、中高生への関心の向上や薬学部学生向けの対策を行うほか、新たに奨学金制度を創設する。
薬剤師確保対策事業												→	

○物価高騰緊急支援事業

食事療養提供体制確保事業												→	・食材料費高騰の影響を受けた医療機関の負担軽減を図るため、診療報酬改定までの期間の支援を行う。
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---

柱Ⅳ：勤務医の働き方改革の推進のための事業

R7年度事業計画策定に向けた県方針

- 2024年4月に始まる医師の時間外労働の上限規制に伴い、地域での医療提供体制を確保しつつ、医師の労働時間短縮を強力に進めていくため、勤務医が働きやすく働きがいのある職場づくりを継続して支援

これまでの実施

26

27

28

29

30

31

2

3

4

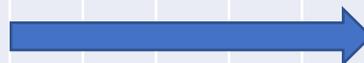
5

6

事業の評価

○勤務医の働き方改革の推進のための事業

勤務医の労働時間短縮
体制整備事業



・地域医療において特別な役割があり、かつ、過酷な勤務環境となっている医療機関を対象とし、勤務医の労働時間短縮に向けた総合的な取り組みに要する経費を支援することで、勤務医の労働時間を短縮し、勤務医の働き方改革の推進を図る。